

# サケの飼育記録

②

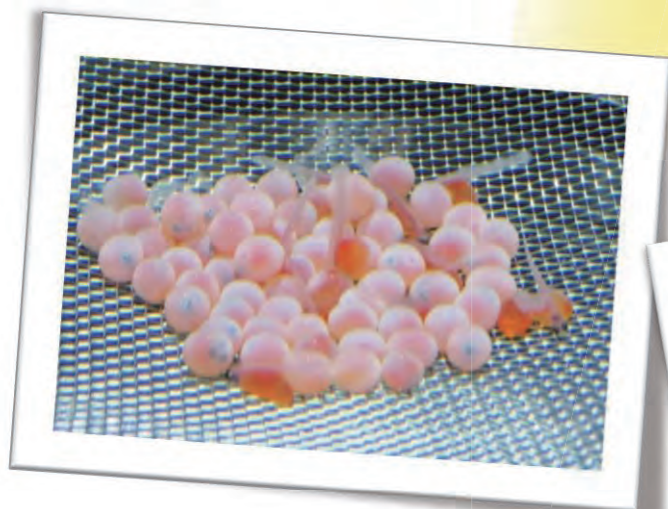


## 2019年1月3日

卵がふ化しました!!  
出てきたのはまだ10尾ほどですが、  
これから4日間ですべての卵がふ化する  
筈です。

実はこの日にふ化するの予想していました。  
水槽の温度を積算すると、ふ化の目安の  
480℃になるのが1月3日だったのです。

サケの飼育では水温管理がとても  
大事だということが  
よく分かります。

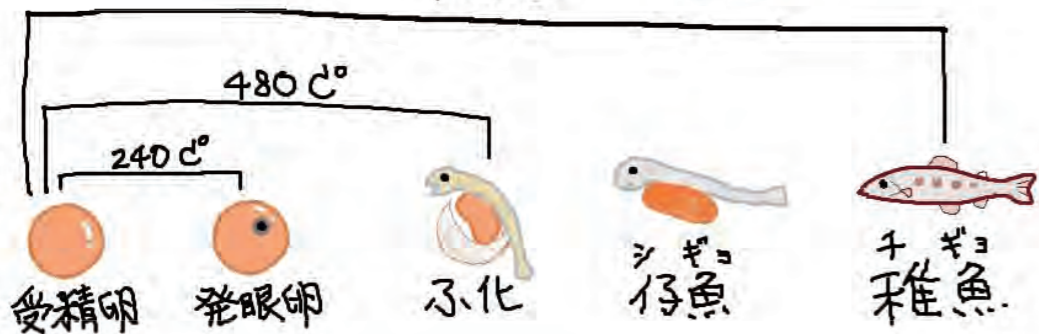


960℃



サケの飼育は大事な栄養です。

積算温度



## 2019年1月7日

1月6日時点で残り2粒だった卵が  
今日の朝で残り1粒になっていました。  
予定より遅いので少し心配です。  
無事にふ化してくれるといいのですが。



早くふ化して!

## 2019年1月8日

サケ達がふ化をした後、水面には  
泡が立ちます。  
サケが卵のカラを溶かすために出した  
ふ化酵素によるものです。  
本当は水槽の1/3程度、きれいな水と入れ  
かえたいのですが、まだ1粒残っている  
ので、手桶で泡をすくい取って、減った  
分の水を足しています。

以前、残り1粒で待ちきれずに水かえをしたら、  
その卵のサケがふ化の途中で動かなくなって  
しまったことがあったので、今回は待つことに  
しました。

ふ化したサケ達はまだ泳げないので暗い場所で  
じっとしていますが、観察する時は水槽を明るくするので  
驚いて右往左往してしまいます。

かわいそうなので、早めに観察を終わらせ、黒い  
段ボールで水槽を覆います。



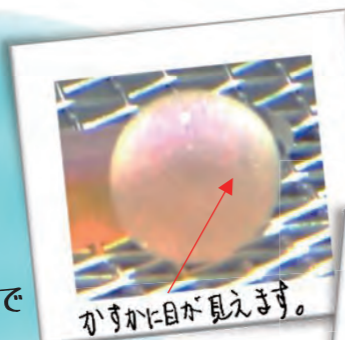
白いのが泡



ふ化したサケは石のすき間に隠れます。

## 2019年1月11日

残り1粒がまだふ化しません。  
でも死んではいません。  
(死んだら卵が白く濁ります)  
よく見ると目がはっきりしていないので  
発眼卵になった直後に  
成長が止まったのでしょうか。



かすかに目が見えます。



他の卵は目がはっきりしています。

隣りの水槽は水かえ用の  
水を作っている水槽2台。



水温も同じ、ろ過器も作動しているので  
水かえでサケ達にストレスを与えないよう  
なっています。

観察の時はカバーを外して  
照明をつけますが、終わったら  
またカバーを付けます。

このカバーは水槽に合わせて  
プラスチック段ボールを切って  
作りました。  
サケ達は黒カバー落ちつくようです。

